

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成24年 6月27日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地

氏 名 三菱重工業株式会社 名古屋冷熱製作所

取締役執行役員

名古屋冷熱製作所長 有原 正彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052-503-9200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三菱重工業株式会社 名古屋冷熱製作所
事業場の所在地	愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	25 はん用機械機器具製造業
②事業の規模	製造品出荷額：16,342百万円
③従業員数	578人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1による

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
(管理体制図) 産業廃棄物総括責任者 (総務部長) <ul style="list-style-type: none"> — 産業廃棄物管理責任者 (総務課長) — 産業廃棄物処理責任者 (産業廃棄物処理施設の所管課長*) (*) 現在、工場設備課のみ — 特別管理産業廃棄物管理責任者 — 産業廃棄物処理施設技術管理者 — 産業廃棄物発生課長等 (産廃物を発生させる課長, グループ長) 							
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度 (平成23年度) 実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	鉄くず	ガラス陶磁器
	排出量	793t	155t	76t	69t	3t	1t
	(これまでに実施した取組) 平成20年度後半からの一部の製品を海外生産化により、生産に寄与する廃棄物が減少。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	鉄くず	ガラス陶磁器
	排出量	753t	147t	72t	66t	3t	1t
	(今後実施する予定の取組) 今後、生産量が減少するが、廃棄物の発生量を抑制 (下記) し、前年度実績対比95%に抑える。 汚泥：節水等を実施する 廃油：切削水の入替頻度を見直す 廃プラ：製品の廃却を抑制する 木くず：梱包材を木からダンボールに変更する						
産業廃棄物の分別に関する事項							
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2の分類で分別実施						
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に廃プラは、処理委託業者へ排出前に再チェック実施						

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（23年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	なし
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組) 再生利用は実施していない	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	なし
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（23年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	714 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥の脱水機の定期点検	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	678 t
	(今後実施する予定の取組) 今年度も脱水機の定期点検を実施し、脱水機の性能を維持する	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（23年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	なし					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t					
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行っていない						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	なし					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t					
	(今後実施する予定の取組) 特になし						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（23年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	鉄くず	ガラス陶磁器
	全処理委託量	79t	155t	76t	69t	3t	1t
	優良認定処理業者への処理委託量	8t	153t	25t	69t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	79t	155t	76t	69t	3t	1t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	8t	38t	25t	0t	0t	0t
(これまでに実施した取組) 再生利用（リサイクル）業者へ変更し、極力、中間処理後の埋立を抑制した。							

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	鉄くず	ガラス陶磁器
	全処理委託量	75t	147t	72t	66t	3t	1t
	優良認定処理業者への処理委託量	7t	145t	24t	66t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	75t	145t	72t	66t	3t	1t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	7t	36t	24t	0t	0t	0t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>優良認定処理業者及び認定熱回収業者の情報を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理委託業者の現地調査実施時に確認 ・インターネット等で確認 <p>で収集し、廃棄物処理委託業者現地調査時に優良認定業者等の登録を呼びかける。</p>						
※事務処理欄							

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程

発生物種類	発生場所	種類名（ユーザ独自）	中間処分方法	埋立or再資源化<方法>
汚泥	総合廃水処理施設	総廃汚泥	肥料化	再資源化 <コンポスト化（堆肥化）>
汚泥	塗装ショップ	機械汚泥（ボンデカス）	焼却	再資源化<路盤材>
汚泥	プレスショップ	鍛造スラッジ	焼却	再資源化<路盤材>
汚泥	圧縮機組立	溶接スパッタ（研削スラッジ）	焼却	再資源化<路盤材>
汚泥	組立運転室等	廃乾電池	選別	再資源化<原材料化>
廃油	圧縮機機械加工	切削水処理	油水分離	再資源化<燃料化>
廃油	プレスショップ	鍛造廃液（廃油類）	焼却	再資源化<路盤材>
廃油	各作業者エリア	油ボロ	焼却	埋立
廃油	試験室	廃不凍液	油水分離	再資源化<燃料化>
廃油	各種生産設備	廃液（廃油類）	焼却	再資源化<路盤材>
廃油	塗装ショップ	電着UF・RO廃液	焼却	再資源化<路盤材>
廃油	食堂廃水処理施設	食廃オイルボール（廃油類）	焼却	再資源化<路盤材>
廃プラ	塗装ショップ	廃塗料（塗料カス）	焼却	再資源化<路盤材>
廃プラ	組立・艀装ショップ	軟質廃プラ	破碎圧縮	再資源化 <燃料化（RPF）>
廃プラ	組立ショップ	硬質廃プラ	破碎圧縮	再資源化<原材料化>
廃プラ	組立ショップ	廃プラスチック類（ゴム栓）	焼却 （熱回収）	再資源化<路盤材>
廃プラ	塗装ショップ	廃プラスチック類（塗料カス）	焼却 （熱回収）	再資源化<路盤材>
廃プラ	組立ショップ	その他廃棄物	破碎	再資源化<原材料化>
廃プラ	市場戻機調査室	廃プラ	破碎	再資源化
廃プラ	塗装ショップ	廃プラ	焼却	再資源化<路盤材>
廃プラ	市場戻機調査室	廃プラ（室内機）	破碎	再資源化<燃料化>
廃プラ	市場戻機調査室	ISUタンク	破碎	再資源化<燃料化>
廃プラ	各種生産設備	OA機器	破碎	再資源化<燃料化>
木くず	部品梱包	木屑	破碎	再資源化<燃料化>
鉄くず	圧縮機機械加工	研削スラッジ	分級混練	再資源化<再使用>
ガラス・コンクリート・陶磁器屑	各種照明	蛍光灯	破碎	再資源化<原材料化>
ガラス・コンクリート・陶磁器屑	圧縮機機械加工	砥石屑	破碎	再資源化<再使用>

廃棄物・有価物分別一覧表

廃棄物・有価物種類		具体例	注意事項	排出場所		
廃プラスチック類	軟質系プラスチック類	ビニールひも	金属及び生ごみ・煙草の吸殻・床を掃除した時の集めた物はいれないこと	リサイクル廃プラ専用台車		
		ビニール袋				
		サランラップ				
		アルバムのセロハン紙				
		たばこのセロハンとアルミ紙				
		手提袋のトツテ部(ビニールの物)				
		菓子等の内・外袋				
		ポケットチッシュの外紙				
		ティッシュペーパー(箱)取出し口のビニール				
		薬・テークアップの梱包紙				
		PPバンド(金具は外す)				
		タイラップバンド				
		キャップ類(プラスチック類)				
		緩衝材				
		剥離材				
		発泡スチロール(汚れの無い物)				
		マイクロフィルム				
	ガムテープ					
	カーボン紙					
	ペットボトル					
	複合材	複合材A	ブラコン・ダンブラ	外せる鉄類は外す(有価物として売却出来る)	旧焼却場の複合材A置場(少量の場合は、ビニール袋に入れ台車の横に置く)	
			洗剤の空箱			
			プラスチック容器			
			ヘルメット			
			ハーネス・電気コード類			
			スポットクーラーのダクト			
			水受け			
			文房具			
		複合材B	傘	布類は除く 個人の物は持ち帰る 1m以内に切る ビニール袋に入れる(他の物は混ぜない)		旧焼却場の複合材B置場(少量の場合は、ビニール袋に入れ台車の横に置く)
			アコーディオンカーテン			
			穴あけパンチ・鉛筆削り機・定規			
			電卓・時計・鉛筆・ボールペン			
			バケツ(缶・ポリ)			
ガスコンロ・換気扇・やかん						
自転車・電気掃除機・扇風機						
ロッカー・キャビネット(プラスチック製)						
複合材C	菓子類の空缶・紅茶の空缶	金属製は203工場西側利材置場へ置く	旧焼却場の複合材C置場(少量の場合は、ビニール袋に入れ台車の横に置く)			
	ゴム栓					
有価物(売却)	上質紙	コピー紙(白地で3色まで)		上質紙台車		
		白色の紙				
		PPC紙				
	ダンボール	各種ダンボール	折りたたんで入れる	ダンボール台車		
		雑誌・週刊誌・カタログ・取扱説明書類				
	その他の紙	新聞・チラシ類	セロハン・アルミ紙は外す 金具・ビニールは外す 付属しているビニールは外す	その他の紙台車		
		タバコの箱				
		紙製ファイル				
		安全靴・ティッシュの空箱				
		ラップ・輪ゴム・ホッチキスの空箱				
		青焼きの紙				
		アルバムの台紙				
		菓子箱を包んだ包装紙・菓子の空箱(紙製)				
		紙袋(薬・クリーニング・写真)				
		紙製の手提袋				
		蛍光灯の外紙筒				
		コピー紙の包み紙				
石鹸の外箱・中袋(紙製)						
社内封筒・ダイレクトメール封筒(紙製)						
はがき・名刺						
ノート・本						
納品伝票(ビニールが付いていないもの)	ビニール袋に入れる					
金属類	金属		203工場西側の専用置場(少量の場合は、ビニール袋に入れ台車の横に置く)			

で囲んだ種類毎に分別を行う